



NISSHA

2020年12月期 第1四半期 決算説明テレフォン・ カンファレンス

2020年5月13日

NISSHA株式会社

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

鈴木順也

説明の流れ

- Q1決算とQ2の見通し
- 収益力強化策（希望退職者の募集）の進捗
- COVID-19の影響と対応
- H2の見通し

2020年12月期 第1四半期の実績 (IFRS)

- 前年同期比 増収増益、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響は限定的（為替レート：¥108）
 - 売上高 394億円、営業利益 10億円、税引前利益 10億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益 8億円
 - デバイス：スマートフォンおよびタブレット向けの製品需要が堅調に推移
 - 産業資材：COVID-19の影響により、中国の生産拠点では一時的に稼働停止も3月末までに稼働再開。サステナブルパッケージ資材の企業買収が完了
 - メディカルテクノロジー：COVID-19の影響により、医療機器の製品需要は堅調に推移、商業施設向けなどのビジネスメディアの製品需要は減少

2020年12月期の見通し (IFRS)

- 上期の業績予想を上方修正、通期の業績予想は変更なし（第2四半期以降 想定為替レート：¥105/\$）
 - 上期：売上高 770億円、営業利益 ▲40億円、税引前利益 ▲42億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益 ▲52億円：COVID-19の影響により一部の製品需要は当初の想定を下回るものの、デバイス事業のタブレット向けなどの製品需要は当初の想定以上に推移する見通し
 - 通期：売上高 1,660億円、営業利益 ▲20億円、税引前利益 ▲27億円、親会社の所有者に帰属する当期利益 ▲35億円

トピックス

- 米国のSparsha Pharma USA, Inc. (DDSの開発) へ追加出資を実施、同社を持分法適用会社化 (2020年4月)

2020/12期 Q1の実績

前年同期比 増収増益（黒字化）

デバイスの製品需要が堅調に推移、コスト改善が進捗

(百万円)

	2019/12期 1-3月 (Q1) 実績 IFRS	2020/12期 1-3月 (Q1) 実績 IFRS	前年同期比 (2019/12期 1-3月比)
売上高	36,422	39,474	+8.4%
産業資材	11,515	11,946	+3.7%
デバイス	16,778	19,536	✓ +16.4%
メディカルテクノロジー	6,145	5,700	▲7.3%
情報コミュニケーション	1,888	1,947	+3.1%
その他	95	344	+262.1%
営業利益	▲ 2,458	✓ 1,082	黒字化
営業利益率	-6.7%	2.7%	+9.4pt
税引前利益	▲ 2,704	1,076	黒字化
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	▲ 2,957	870	黒字化
為替レート	¥ 109/\$	¥ 108/\$	

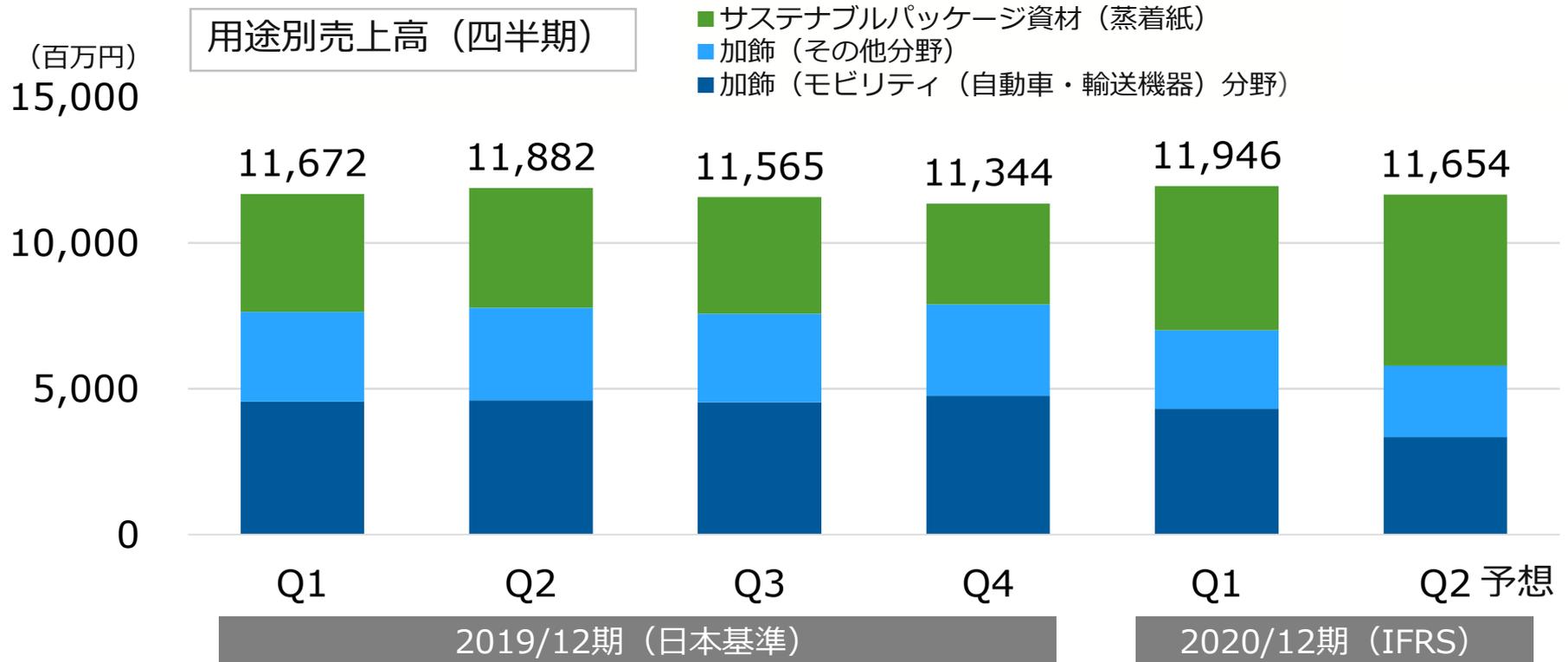
産業資材

Q1結果

- サステナブルパッケージ資材（蒸着紙）の買収が完了（Eurofoil）
- COVID-19の影響は限定的

Q2予想

- COVID-19の影響により自動車の需要は大幅に減少する見通し
- サステナブルパッケージ資材（蒸着紙）の需要は堅調に推移する見通し



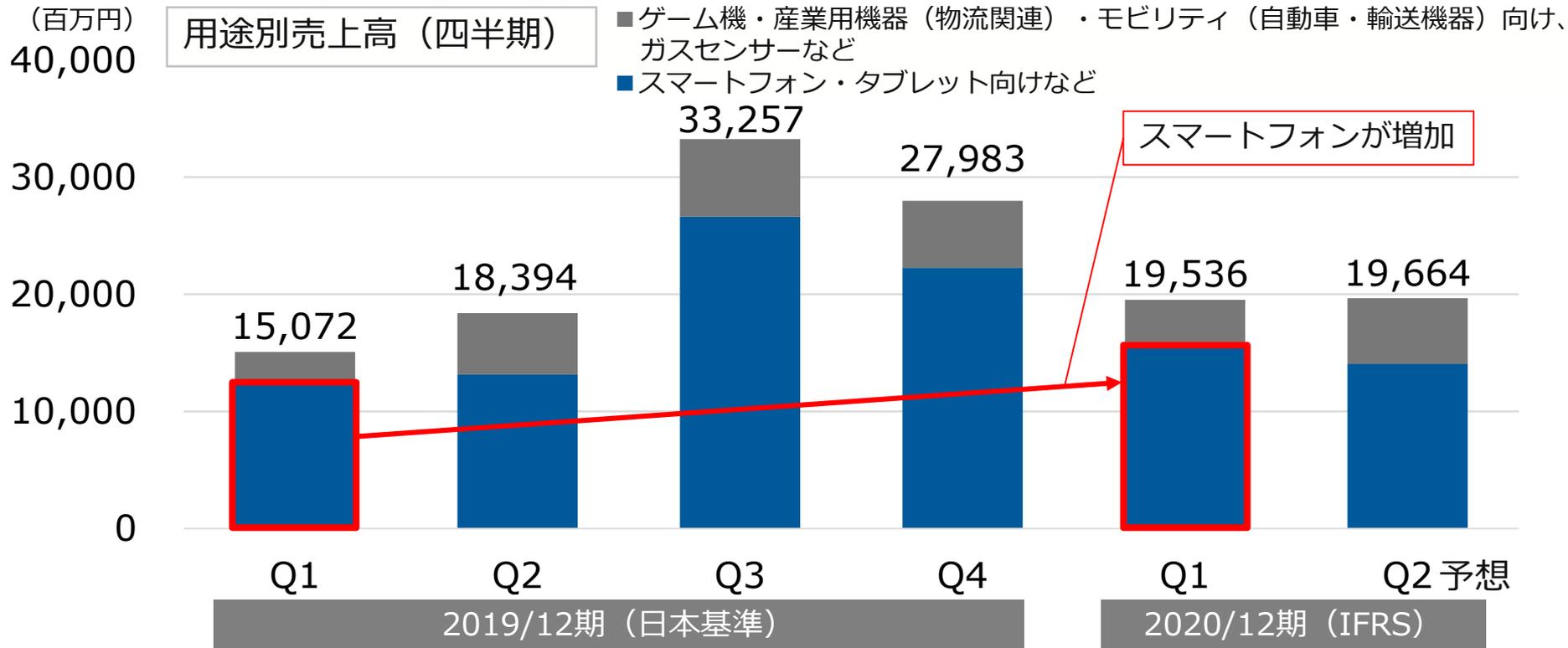
デバイス

Q1結果

- スマートフォン・タブレットの製品需要が平準化し、堅調に推移
- 需要減少に対して変動人件費を削減

Q2予想

- スマートフォン・タブレットの製品需要は前年同期比で増加する見通し
- ゲーム機・産業用機器（物流関連）の製品需要は当初想定通り堅調に推移する見通し



メディカルテクノロジー

EMPOWERING YOUR VISION

Q1結果

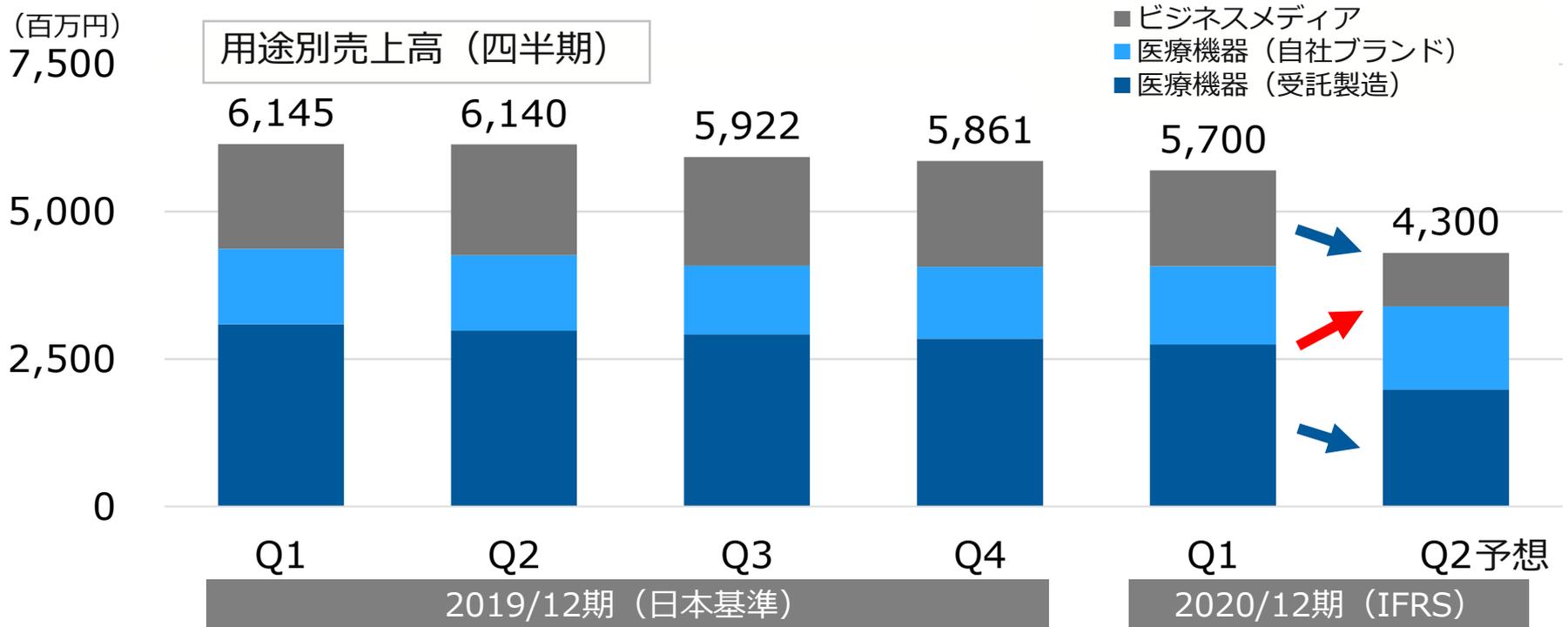
- 医療機器の製品需要は堅調に推移
- 商業施設向けなどのビジネスメディアの需要は減少

Q2予想

- COVID-19の影響により、商業施設向けなどのビジネスメディアの需要は大幅に減少する見通し
- COVID-19の影響により、医療用消耗品（自社ブランド電極など）の需要は旺盛だが、受託製造（待機的手術などの手術用機器）の製品需要が一時的に低下する見通し（医療機関がCOVID-19への対応を優先）

(百万円)
7,500

用途別売上高（四半期）



情報コミュニケーション

Q1結果

- COVID-19の影響は限定的

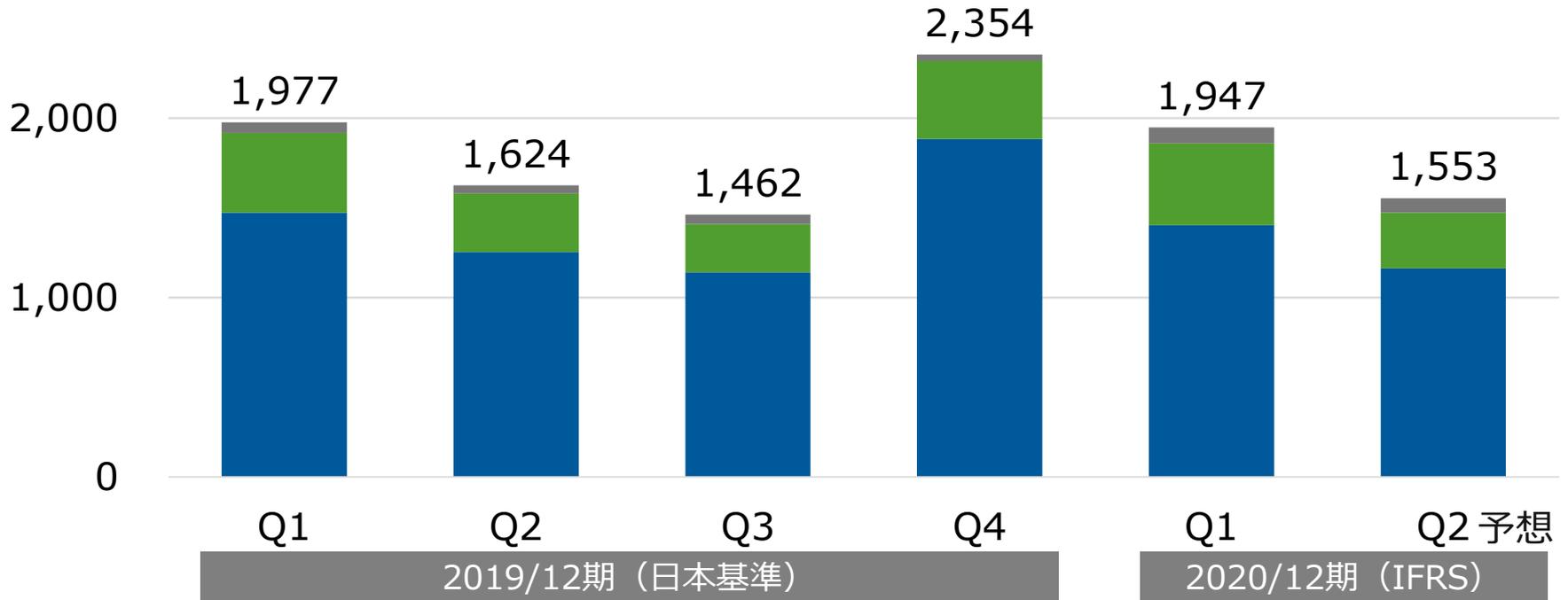
Q2予想

- COVID-19の影響により展覧会図録などの需要は減少する見通し

(百万円)
3,000

用途別売上高 (四半期)

■ その他
■ 出版分野
■ 商業分野



新事業開発（医薬品DDS）

Sparsha Pharma USA, Inc（米国）へ追加出資 持分法適用会社化

- 開発マイルストーンの進捗に伴い、4月に追加出資を実施
- 当社の持分比率は20.2%に
- 2030年までに医薬品DDSで200億円規模の売上高を目指す

Sparsha Pharma USA, Inc

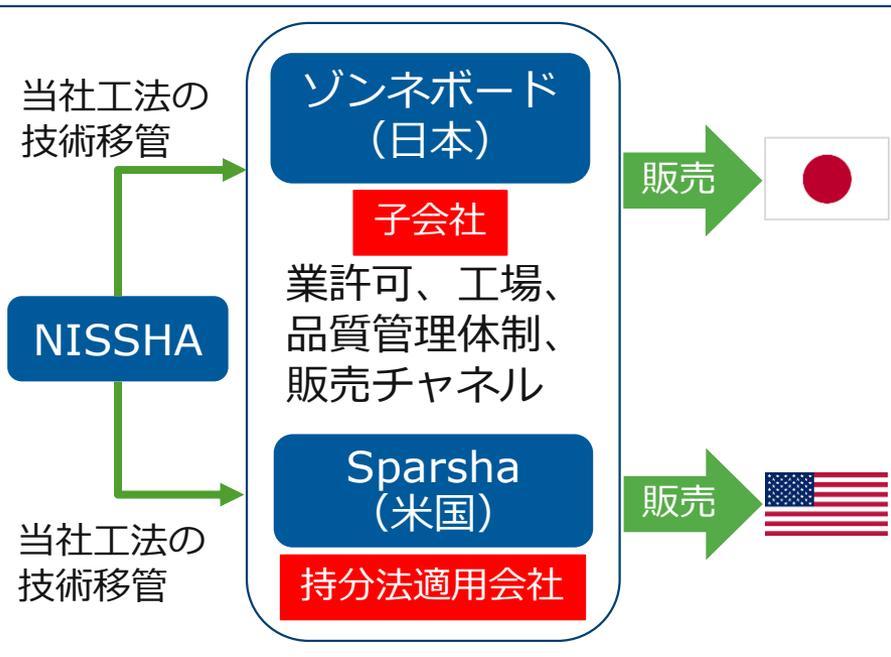
拠点 アメリカ カリフォルニア州

従業員数 11人

事業内容 医療用医薬品、一般用医薬品の開発、製造および製造販売

当社のDDS戦略

- 錠剤や注射剤からの剤形変更が市場機会
- 当社は製剤設計・製造を行う
- ターゲットはフィルム状製剤（中枢神経系、疼痛など）
- ゾンネボード製薬（2019年買収）に当社工法を技術移管
- Sparsha Pharmaに当社工法を技術移管



収益力強化策（希望退職者の募集） の進捗

2020H1の収益力強化策をてこに、 2020H2以降の収益性が向上

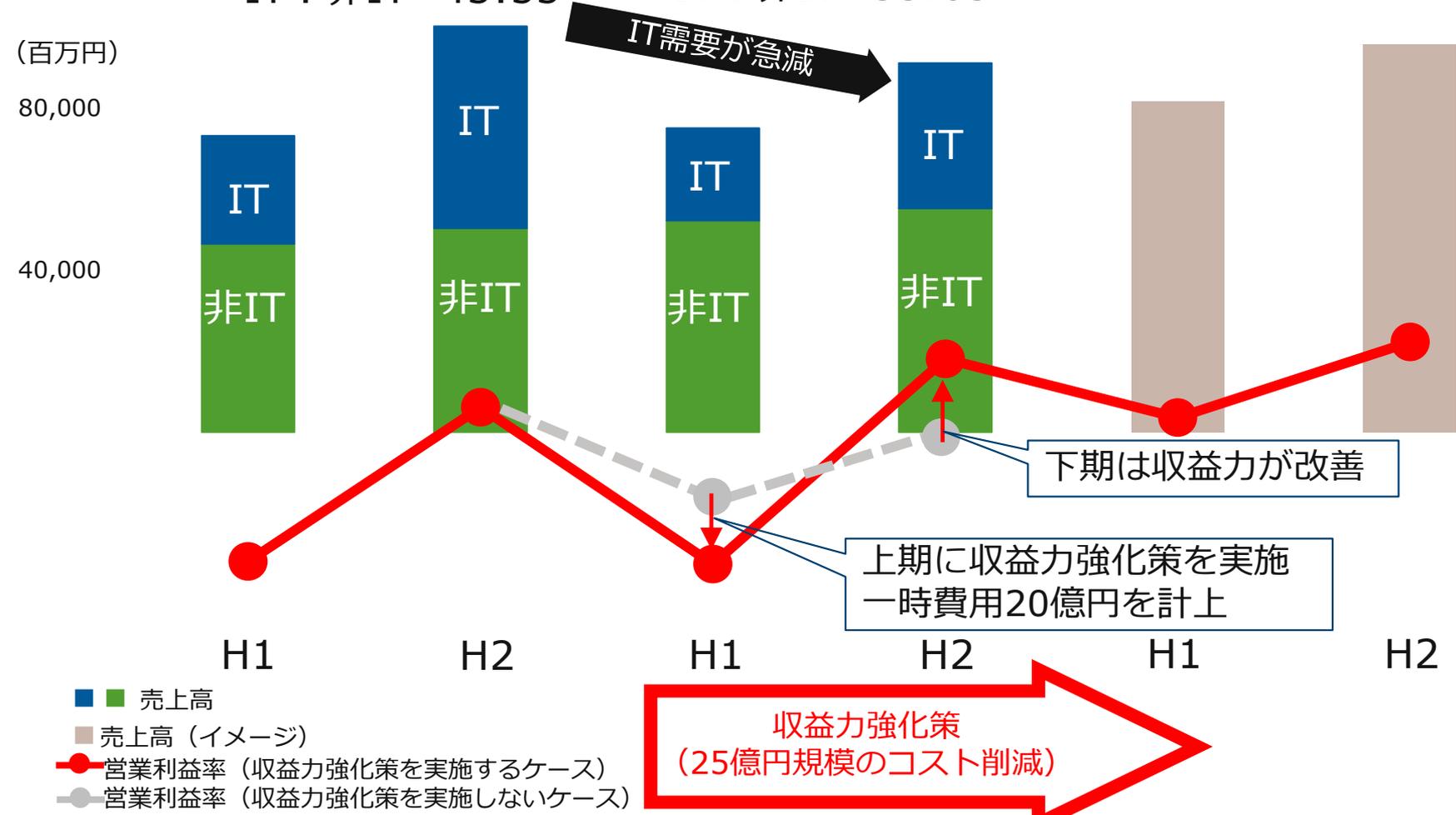
2019 (実績)

IT : 非IT=45:55

2020 (予想)

IT : 非IT=35:65

2021 (イメージ)



希望退職者の募集の結果

●募集の概要

- 募集人数：当社および国内子会社の正社員を中心に250名規模
- 募集期間：2020年4月28日から2020年5月15日
- 退職日：2020年6月30日

●募集の結果（2020年5月11日締め切り）

- 希望退職者数 268名

●その他の費用の計上

- 約21億円を2020年12月期第2連結累計期間の決算に計上予定
- 業績予想には反映済み

新型コロナウイルス（COVID-19） との戦い

社員への通達・指示

- 国内の不要不急の拠点間移動・出張の禁止
- 海外出張の禁止

テレワークの推進

- 生産部門を除いて原則テレワーク
- 国内のテレワーク率は97%
- 海外拠点もテレワークを積極的に活用

生産部門の対応

- 入構時の検温
- グループごとに勤務時間をずらす
- 消毒体制の構築

グループ会社への支援 (海外40拠点*)

- グローバル拠点にマスク約40,000枚を送付
- 中国拠点に防護服50着を送付

感染者の把握 (社員数(連結)5,812人*)

- 国内グループ会社：0人
- 海外グループ会社：4名(復帰済み)

社会への貢献

- フェースシールドのグローバル販売開始

社会への貢献

NISSHAグループの総力を発揮

- 医療用フェースシールドの販売開始
 - 当社のグローバルネットワークを通じて製造・販売
 - 製品名（国内）：MeSHIELD™
 - 製品名（欧米）：LATITUDE™



- マスク用不織布を生産する設備「精密ノズル」を生産（中国）
 - 高精度な金属加工、金型生産で培った能力を活用
- アメリカで複数の大学と高機能マスク用フィルターパーツを開発

生産拠点の稼働状況

事業部	製品	
デバイス	フィルムタッチセンサー	国内：稼働継続、需要堅調
産業資材	加飾	国内：稼働継続も需要低い アジア（中国・マレーシア）：一時稼働休止も稼働再開済み 北中米：稼働継続も需要低い 欧州：稼働継続も需要低い
	蒸着紙 （飲料・食料品のラベル・パッケージ用途）	✓Essential Businessとして稼働継続 欧州：稼働継続 北米：稼働継続 南米：稼働継続も需要低い
メディカルテクノロジー	医療機器	✓Essential Businessとして稼働継続 北中米：稼働継続 欧州：稼働継続
	ビジネスメディア	北米：商業施設向けの需要減少により稼働率は低下 レイオフ（一時解雇）実施



H2に向けての需要見通し（前回予想比）

事業ポートフォリオの多様化により、COVID-19の影響を吸収

事業部	製品	主な市場		
デバイス	フィルムタッチ センサー	スマートフォン		生産時期の後ろ倒しなどにより、需要が当初想定よりも減少する見通し
		タブレット・ゲーム機・産業用機器（物流関連）		巣ごもり需要により堅調な需要が継続する見通し
産業資材	加飾	自動車		需要減少が継続する見通し
		家電		需要減少は限定的となる見通し
	蒸着紙	飲料・食料品のラベル・パッケージ向け		Essential Businessとして、需要は堅調に推移する見通し
メディカルテクノロジー	医療機器	医療機器		Essential Businessとして、需要は堅調に推移する見通し
	ビジネスメディア	商業施設向け		需要減少は限定的となる見通し

2020/12 上期・通期業績予想

上期の業績予想を上方修正、通期は変更なし

(百万円)

	2020/12期 上期 (1月-6月) 前回予想	2020/12期 上期 (1月-6月) 今回予想	2020/12期 通期 (1月-12月) ✓ 変更なし
売上高	75,000	77,000	166,000
産業資材	25,500	23,600	-
デバイス	32,700	39,200	-
メディカルテクノロジー	12,400	10,000	-
情報コミュニケーション	3,600	3,500	-
その他	800	700	-
営業利益	▲ 6,000	▲ 4,000	▲ 2,000
営業利益率	-8.0%	-5.2%	-1.2%
産業資材	▲ 1,000	▲ 1,300	-
デバイス	▲ 4,000	▲ 900	-
メディカルテクノロジー	750	200	-
情報コミュニケーション	▲ 50	▲ 50	-
その他	▲ 1,700	▲ 1,950	-
税引前利益	▲ 6,300	▲ 4,200	▲ 2,700
親会社の所有者に帰属する 当期（四半期）利益	▲ 6,900	▲ 5,200	▲ 3,500
為替レート	¥105/\$	¥107/\$	¥105/\$

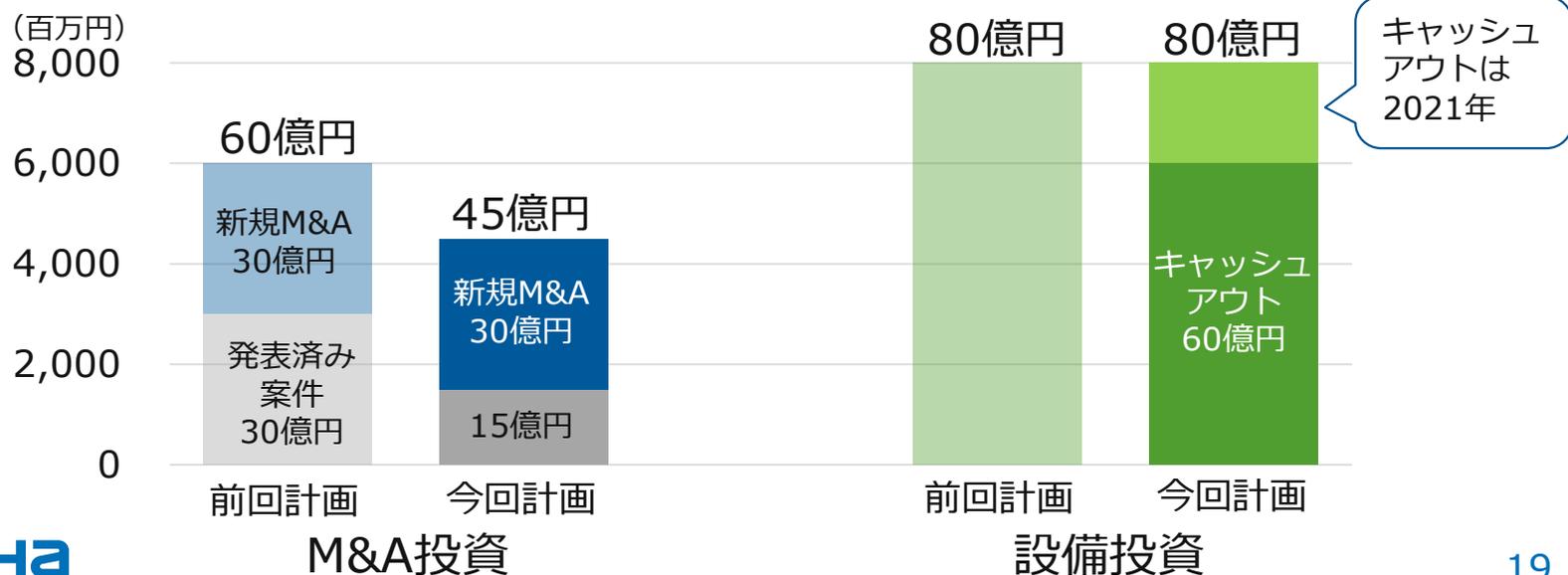
資金調達・投資計画

資金調達

- 銀行借入：運転資金借入枠の増額（2019年度に対応済み）
- 社債発行枠（300億円）を確保済み
- 政策保有株式の売却（約50億円）を予定

投資計画

- M&A投資：45億円に減額
 - 発表済みの案件1件を取り下げ（Closing conditionが整わず）
- 設備投資：80億円
 - 2020年のキャッシュアウトは60億円の見込み



ご参考: 設備投資・減価償却費及び償却費・ M&A投資・研究開発費

(百万円)

	第1四半期 (1-3月) 実績
設備投資	1,435
減価償却費 及び償却費	2,058
M&A投資	1,431
研究開発費	671

This document contains confidential information and all rights regarding the document belong to Nissha Group. Therefore, any disclosure and/or leakage of the document to any third parties other than recipients of the documents, and copy, transfer and/or citation of the document without the prior authorization of Nissha Group are strictly prohibited. In addition, any use of the document for the purpose other than original purpose for the disclosure of the document is also prohibited.

本資料には機密情報が掲載され、一切の権利はNISSHAグループに帰属しているので、NISSHAグループの事前の許可なく、本資料を受領者以外の第三者に開示、漏洩したり、複写、転送、引用することを固く禁止いたします。また、本資料の開示目的以外での使用は同様に禁止いたします。